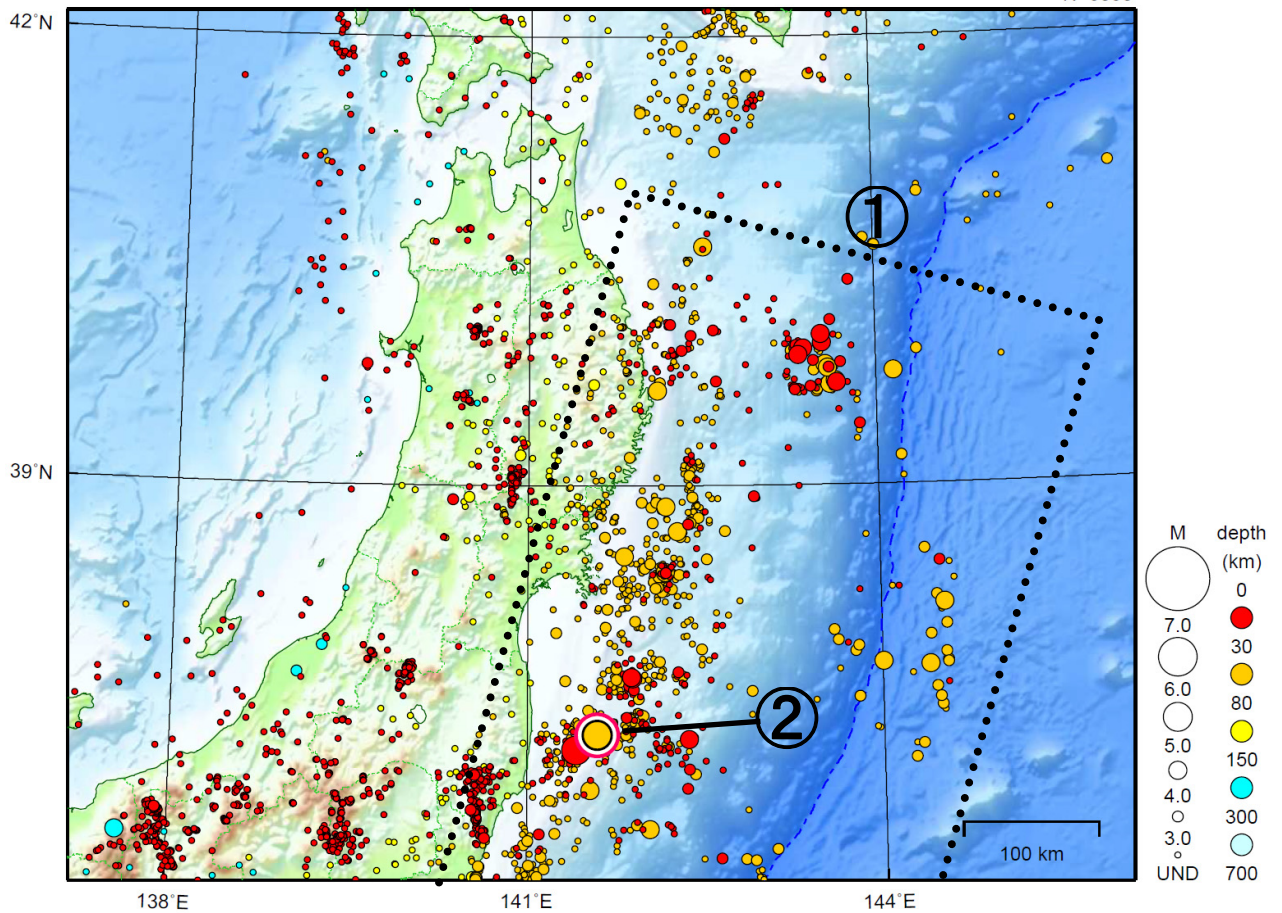


東北地方

2015/03/01 00:00 ~ 2015/03/31 24:00

N=3030



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 3 月中に、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域内では M5.0 以上の地震が 3 回発生した（関東・中部地方も参照）。また、最大震度 4 以上を観測する地震はなかった。以下の②の地震活動は、東北地方太平洋沖地震の余震域内で発生した。
- ② 3 月 12 日に福島県沖で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震は次第に少なくなっているものの続いており、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

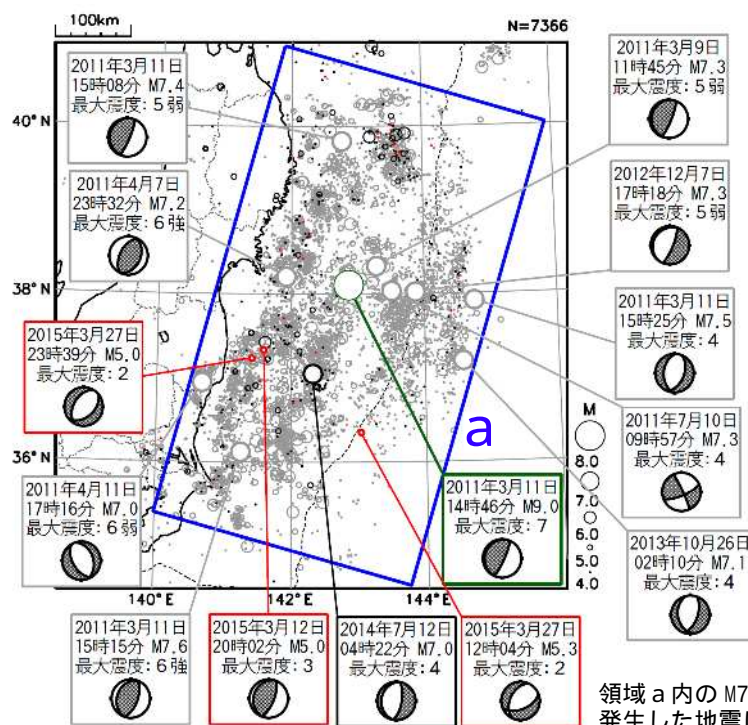
2015 年 3 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 3 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震はなかった。なお、領域 a では 2001 年から 2010 年の 10 年間に M5.0 以上の地震が 190 回、震度 4 以上を観測する地震が 98 回発生している。

領域 a で 2015 年 3 月に発生した M5.0 以上の地震はそれぞれ以下のとおり。

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT 解）
03月12日 20時02分	福島県沖	5.0	5.0	3	西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
03月27日 12時04分	関東東方沖	5.3	5.4	2	北西 - 南東方向に張力軸を持つ正断層型
03月27日 23時39分	福島県沖	5.0	4.6	2	北西 - 南東方向に張力軸を持つ正断層型

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2015 年 3 月 31 日、深さすべて、M 4.0）
2011 年 3 月からの地震を薄く、2014 年 3 月から 2015 年 2 月の地震を濃く、
2015 年 3 月の地震を赤く表示 発震機構は CMT 解



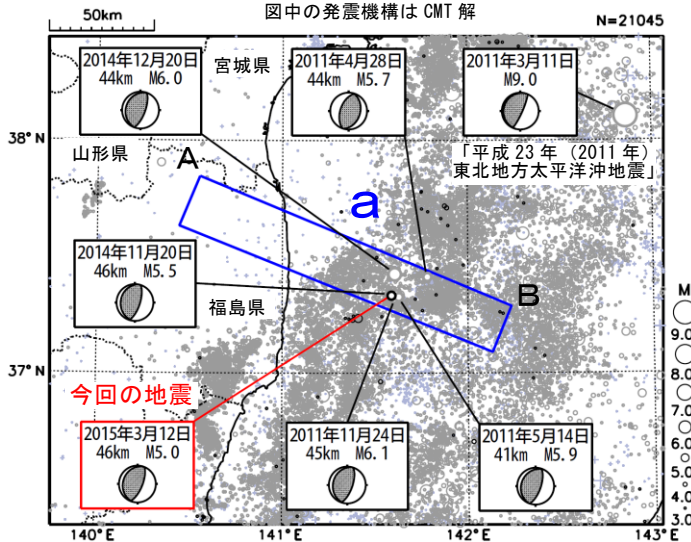
領域 a 内の M7.0 以上の地震と 2015 年 3 月に発生した地震に吹き出しをつけた。



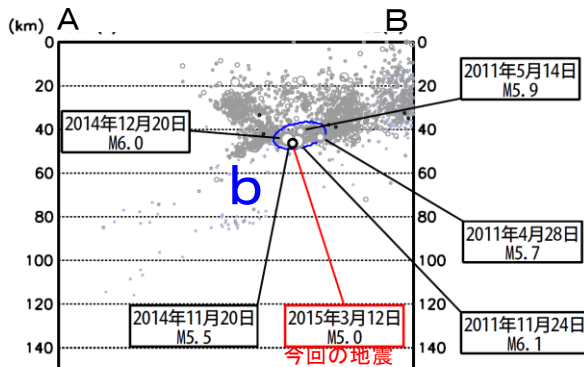
3月12日 福島県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年3月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震発以降に発生した地震を薄い○
2015年3月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構はCMT解

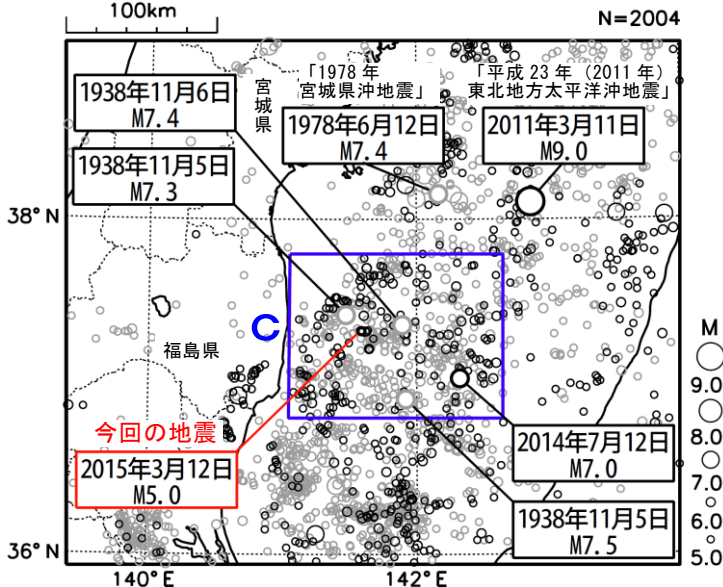


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2015年3月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示



2015年3月12日20時02分に福島県沖の深さ46kmでM5.0の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5程度の地震が時々発生しており、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生以前に比べて地震活動が活発な状態が継続している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日にM7.5の地震が発生し、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた。また、この地震により、宮城県花巻で113cm (全振幅) の津波が観測された (「日本被害地震総覧」による)。この地震の発生以降、広い範囲でM7程度の地震が数回発生するなど、地震活動が活発になった。

領域b内のM-T図及び回数積算図

